

而、三自之綱打挂而、霜黒葛闇ニ耶ニ爾河船之毛ニ曾ニ呂ニ爾國ニ來ニ引來縫國者、自手波恐符

縫之打絶而、闇見之國是也、亦高志之都ニ之三埼矣、國之餘有耶見者、國之餘有詔而、童女曾鉏所取而、大魚之支太衝別而、波多須ニ支穗振別而、三自之綱打挂而、霜黒葛闇ニ耶ニ爾河船之毛ニ曾ニ呂ニ爾國來ニ引來縫國者、三穗之埼也、持引綱者、夜見島是也、固堅立加志者、有伯耆國大神岳是也、今者國引訖詔而、意宇杜爾御杖衝立而、意惠登詔故云意宇所謂意宇杜者、郡家東北邊田中在塾是也、闇八步許、其上有木以茂、

〔出雲風土要抄意宇郡〕

意字郡

按、意宇郡乃出雲村、今爲魚梁之處是也、志羅記之三埼、又高志之都ニ三埼

蓋島根郡三保埼也、去豆乃打絶、楯縫郡今古津浦也、八穗米支豆支乃御埼、大社邊也、雲石兩國堺佐比賣山、今三瓶山是也、園長濱、神門郡今國村海濱也、今有妙見社乃載神門郡曰水海與大海之間有山、長二十二里二百三十四步、廣三里、此者意美豆努命之國引坐時之綱矣、今俗人號云園松山云々、北門佐伎國、今神門郡鷺浦也、多久打絶、島根郡今講武村、中世曰圓福寺村、上多久下多久乃は也、挾田之國、蓋秋鹿郡佐太大明神所座處也、北門良波國、蓋島根郡野浪浦也、闇見國、國郡今新庄村久良谷邊也、夜見島、伯耆國弓濱火神岳、是亦指同國大山也、

〔出雲風土記解意宇郡〕北門は新羅をさすか、出雲國の北には、新羅肅慎につきて東北蝦夷迄國有ときけば、廣く北門といへる成べし。○中略佐岐は埼なり、又新羅の地名か。○中略狹田國は秋鹿郡なり、佐太社、佐太川、佐田海等あり、

〔日本書紀齊明天二十六〕五年、是歲、命出雲國造修嚴神之宮、狐噬斷於友郡役丁所執葛末而去、

〔續日本紀一武〕二年三月己巳、詔筑前國宗形、出雲國意宇二郡司、宜聽連任三等已上親、

〔懷橘談意宇郡〕能儀郡、或は能美に作る、風土記に能儀郡見えず、思ふに聖武天皇の御宇天平の後、意宇郡を割分して兩郡とせしか、玄れる人に尋ねべし、安來はむかし意宇郡に見えたり、今は能儀郡に屬し侍れば、後世二郡とせし事猶明なり、意宇の社あれば郡の名とせり、